

令和 1 0 （ 2 0 2 8 ） 年度入学者選抜における変更について（予告：第 1 報）

本学の令和 1 0 年度入学者選抜（令和 9 年度実施）における変更について、以下のとおりお知らせします。
なお、下記内容は現時点のものであり、今後の検討状況により変更となる場合があります。

I 募集人員

- 総合型選抜を「未来創造選抜（総合型選抜）」に名称を変更します。
- 一般選抜前期日程・後期日程、未来創造選抜（総合型選抜）の定員が変更となります。

学 部 名	一般選抜		未来創造選抜 (総合型選抜)	学校推薦型選抜			入学定員
	前期日程	後期日程		はこだて枠	地域枠	全国枠	
システム情報科学部	1 2 0 人	1 8 人	3 5 人	1 2 人	4 0 人	1 5 人	2 4 0 人

II 試験方法・内容

1. 一般選抜

【前期日程】

- 大学入学共通テストの配点を 5 0 0 点から 3 0 0 点にするとともに、合否判定に用いる科目数および得点の使用方を以下のとおり変更します。
- 個別学力検査の「外国語（英語）」を廃止します。また、「数学」の配点を 3 0 0 点から 1 5 0 点に変更します。

(変更前)

大学入学共通テスト			
教 科	科 目		配点
国 語	必須	『国語』 (「近代以降の文章」のみ)	100
数学①		『数学Ⅰ，数学Ⅱ』	100
数学②		『数学Ⅲ，数学Ⅳ，数学Ⅴ』	100
理 科	少なくとも 1科目 を選択	『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』 『地学』	100
情 報	必須	『情報Ⅰ』	100
外国語		『英語』 【リーディング】 【リスニング】	
計			500

個別学力検査			
教 科	科 目		配点
数学	必須 問題	数学Ⅰ， 数学Ⅱ， 数学A， 数学B， 数学C	300
	選択 問題	数学Ⅰ， 数学Ⅱ， 数学A， 数学B， 数学C	
		数学Ⅲ， 数学C	
外国語	英語		200
計			500

(変更後)

大学入学共通テスト			
教 科		科 目	配点
国 語	少なくとも <u>3教科</u> を選択 (※1)	『国語』 (「近代以降の文章」のみ)	300 (※3)
数学①		『数学Ⅰ，数学A』	
数学②		『数学Ⅱ，数学B，数学C』	
理 科		『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』 『地学』のうち1科目 (※2)	
情 報		『情報Ⅰ』	
外国語		『英語』 【リーディング】 【リスニング】	
計			300

個別学力検査			
教 科	科 目		配点
数学	必須 問題	数学Ⅰ，数学Ⅱ， 数学A，数学B，数学C	150
	選択 問題	数学Ⅰ，数学Ⅱ， 数学A，数学B，数学C	
		数学Ⅲ，数学C	
計			150

※ 1) 大学入学共通テストでの受験必須教科および科目はありません。「国語」・「数学①」・「数学②」・「理科」・「情報」・「外国語」の6教科のうち、必ず3教科以上を受験してください。

※ 2) 「理科」を2科目受験した場合は、より得点の高い1科目を「理科」の得点とします。

※ 3) 4教科以上受験した場合は、各教科の得点をそれぞれ100点に換算し、高得点の上位3教科の得点を合否判定に用いるものとします。

- ・ 『国語』（近代以降の文章）は、当該出題にかかる配点110点を100点に換算して利用します。
- ・ 『英語』は、リーディングを50点（素点100点×0.5）、リスニングを50点（素点100点×0.5）に換算し、計100点として利用します。

【後期日程】

- これまでと同様、大学入学共通テストのみで合否判定を行います。
- 「理科」と「情報」について、合否判定に用いる得点の使用方を以下のとおり変更します。それ以外の科目の得点の使用方には変更はありません。

(変更前)

大学入学共通テスト			
教 科	科 目		配点
国 語	必須	『国語』 （「近代以降の文章」のみ）	100
数学①		『数学Ⅰ， 数学A』	100
数学②		『数学Ⅱ， 数学B， 数学C』	100
理 科	少なく とも 1 科目 を選択	『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』 『地学』	100 (※4)
情 報	必須	『情報Ⅰ』	100
外国語		『英語』 【リーディング】 【リスニング】	
計			500



(変更後)

大学入学共通テスト			
教 科		科 目	配点
国 語	必須	『国語』 （「近代以降の文章」のみ）	100
数学①		『数学Ⅰ，数学A』	100
数学②		『数学Ⅱ，数学B，数学C』	100
理 科	少なくとも 1教科 を選択	『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』 『地学』のうち1科目	100 (※4)
情 報		『情報Ⅰ』	
外国語	必須	『英語』 【リーディング】 【リスニング】	100
計			500

※ 4) 理科・情報の取扱について

(変更前) 「理科」および「情報」は、各科目の得点を50点に換算し、2科目の得点を合計した計100点として利用します。なお、理科を2科目受験した場合は、「情報」、「理科(第1解答科目)」、「理科(第2解答科目)」のうち、高得点の上位2科目の得点を用いるものとします。

(変更後) 「理科」および「情報」については、両方の教科を受験した場合は、高得点の教科の得点を合否判定に用いるものとします。「理科」を2科目受験した場合は、より得点の高い1科目を「理科」の得点とします。

2. 未来創造選抜（総合型選抜）

<未来創造選抜とは>

解がひとつに定まらない、あるいは明快な解のない複雑な問題に満ちている現代社会において、実社会に根ざした問題群を自ら見いだし、解決していく方法を探究する力を持った人材が求められています。

そのためには、知識・技能、思考力・判断力・表現力とともに、自律的に学び続ける力が必要です。また、共創のための情報表現能力、主体性・論理性をもって答えを生み出す力も重要な素養です。

このような観点から、未来創造選抜では、課題解決に取り組む意欲や創造的な探究に挑戦したいという意志を有する学生を募集します。面接では、本学での学びにつながる研究・開発・創作の実践や社会的な活動の実績についてプレゼンテーションをしていただきます。

- 基礎的な学力に関する検査であるという本学の実施意図をより明確にするため、「適性検査」から「基礎学力検査」に名称を変更します。
- 基礎学力検査で実施する総合問題は、理数系の基礎的な能力を評価する1種類とします。

（変更前）

「適性検査」および「面接」によって選考します。

試験内容等		
適性検査	総合問題A (150点)	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題（50点） 2. データに関する基礎的な問題（50点） 3. 情報に関する基礎的な問題（50点）
	総合問題B (100点)	言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 日本語能力を問う問題（50点） 2. 英語能力を問う問題（50点）
面接	プレゼンテーション 対話面接 (250点)	プレゼンテーションでは、自己推薦の根拠となる具体的な活動実績などについて、資料を用いながら説明を行います。このプレゼンテーションと出願書類に基づき、対話面接を行います。



（変更後）

「基礎学力検査」および「面接」によって選考します。

試験内容等		
基礎学力検査	総合問題 (100点)	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 数学およびデータに関する基礎的な問題（50点）（※5） 2. 情報に関する基礎的な問題（50点）
面接	プレゼンテーション 対話面接 (100点)	プレゼンテーションでは、 本選抜の趣旨に合致する 、自己推薦の根拠となる具体的な活動実績などについて、資料を用いながら説明を行います。（※6）このプレゼンテーションと出願書類に基づき、対話面接を行います。

※5）数学に関する基礎的な問題

微分・積分の問題を出題します。

主として数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bおよび数学C（「平面上の曲線と複素数平面」は除く。）の範囲から、基礎的な微分・積分の知識を問います。

データに関する基礎的な問題

出題範囲は数学Ⅰ「データの分析」および数学B「統計的な推測」とします。

※6）プレゼンテーションでは、創作・開発・試作の成果物・実機等の持ち込みを認めます。

3. 学校推薦型選抜

- 受験区分（はこだて枠・地域枠・全国枠）はこれまでと変更ありません。
- 出願資格に英語の評定に関する条件を新たに追加し、以下のとおりとします。

成績が優秀な者（調査書において、次の①②のいずれかを満たす者が望ましい。）		
①	全体の評定平均値が3.7以上	
②	数学、理科、 外国語（英語） 、情報のうちいずれか1教科の評定平均値が3.7以上	

- 総合型選抜と同様、基礎的な学力に関する検査であるという本学の実施意図をより明確にするため、「適性検査」から「基礎学力検査」に名称を変更します。
- 基礎学力検査で実施する総合問題は、理数系の基礎的な能力を評価する1種類とします。
- 従来あった「面接」をなくし、新たに「小論文」を課します。

（変更前）

出願書類、「**適性検査（1日目）**」および「**面接（2日目）**」により総合的に評価し選考します。

試験内容等		
適性検査	総合問題Ⅰ (150点)	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題(100点) 2. データに関する基礎的な問題(50点)
	総合問題Ⅱ (100点)	言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 日本語能力を問う問題(50点) 2. 英語能力を問う問題(50点)
面接	対話面接 (100点)	対話面接により、本学を学ぶうえでの適性などを検査します。



（変更後）

出願書類、「**基礎学力検査**」および「**小論文**」により総合的に評価し選考します。(※7)

試験内容等		
基礎学力検査	総合問題 (150点)	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題(100点) 2. データに関する基礎的な問題(50点) (※8)
小論文	小論文 (50点)	言語理解・言語表現の基礎的な能力、および思考力・判断力・表現力を多角的に評価します。

※7) 基礎学力検査と小論文は同日に実施します。
※8) データに関する基礎的な問題の出題範囲は、**数学Ⅰ「データの分析」および数学B「統計的な推測」とします。**